函館新外環状道路 (一般国道278号) 空港道路

再評価原案準備書説明資料

平成17年度 北海道開発局

目 次

1	•	事業の概要		1
	(1)目的		1
	(2) 計画の概要		3
	(3)経緯		3
2		事業の必要性等		4
]	事	≰の効果や必要性を評価するための指標		4
	(1)事業を巡る社会経済情勢の変化		5
	(2) 事業の投資効果		19
	(3) 事業の進捗状況	4	21
3	•	事業の進捗の見込み		22
4		コスト縮減や代替案立案等の可能性		23
5		関係する地方公共団体等の意見	:	24

1.事業の概要

(1)目的

函館新外環状道路は、道央圏と道南圏を結ぶ北海道縦貫自動車道、函館新道及び函館江差自動車道と一体となって道南地域の高速交通ネットワークを形成する、延長15kmの地域高規格道路です。

このうち、空港道路は、函館IC~空港ICに至る延長10kmの区間で、函館市内の交通混雑の緩和、函館空港へのアクセス向上、各種プロジェクト支援等により地域の活性化に大きく寄与する重要な路線です。

位置図



事業概要図



(2)計画の概要

計画延長 10.0 k m

幅員 20.5m(12.0m)

構造規格 1種3級

設計速度 80km/h

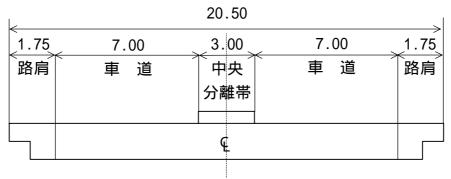
車線 4車線(暫定2車線)

事業主体 北海道開発局

横断図

4 車線

単位:m



(3)経緯

平成10年度 調査区間指定

平成12年度 整備区間指定

平成13年度 着工準備

2.事業の必要性等

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	資料 ページ
		現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	5
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	5
	円滑なモビリ	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除去もしくは交通改善が期待される	
	ティの確保	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	9
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	1 1
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	7
	物法がなりの士	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援 援	農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	1 2
	技	現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
		都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	1 3
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地で行う事業である	
1	都市の再生	幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
活力			
//		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)	
		への連絡道路となる 高速自動車国道と並行する自専道(A 路線)の位置づけあり	
		同述日勤半国道と並1190日等道(A 路線)の位置プロのり 地域高規格道路の位置づけあり	1 3
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A 路線としての位置づけがある場合)	1 3
	国土・地域ネッ	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	トワークの構築	現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
		鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	個性ある地域の 形成	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	1 4
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	1 0
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区	
	歩行者・自転車	間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待	
2	のための生活空	できる	
2 暮	間の形成	交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定路線を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
6	無電柱化による	対象区間が電柱類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
ĺ	美しい町並みの	市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的構造物保存地区)等の幹線道路において新たに無	
	形成	電中化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	1 6
		現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形	
	安全な生活環境	不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
	の確保	当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100	
	OD HE IN	人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場	
3		合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
安		近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
全		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがあ	
		る、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	
	災害への備え	緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A 路線としての位置づけがある場合)	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
-	ᄟᄙᆇᄼᄱᄼ	現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	4 -
	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からの002排出量	1 7
4	-	現道等における自動車からのNO2排出削減率 3大都市圏のみ算出 現道等における自動車からのCDUは出削減率 3大都市圏のみ第出	
環	生活環境の改	現道等における自動車からのSPM排出削減率 3大都市圏のみ算出 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間が	
境	善・保全	現垣寺で融音レベルが傾向安請限及を超過している区間について、新たに安請限及を下凹ることが期待される区間がある	
1	}	その他、環境や景観上の効果が期待される	
5	//. ~ = × ·		1 2
そ	他のプロジェク	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	1 3
0	トとの関係	他機関との連携プログラムに位置づけられている	
他	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	1 8
			•

注: は定量的に評価を行う指標 は効果のある指標

(1)事業を巡る社会経済情勢の変化

客観的評価指標

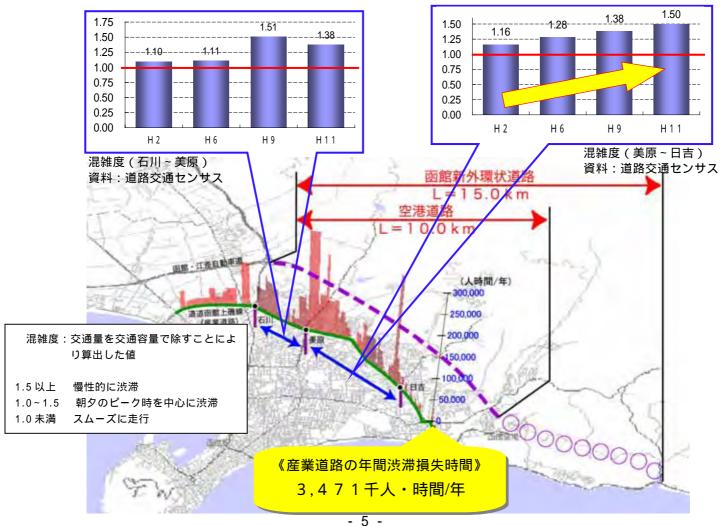
「現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率」 客観的評価指標

「現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である 区間の旅行速度の改善が期待される」

函館市は、南北海道の中核都市として着実な発展をみせていますが、三方を海に囲まれた地形条件等による市街地の拡大や都市機能の拡散に伴い、函館都市圏の外環状道路を形成する主要道道函館上磯線(産業道路)の渋滞は、年々悪化傾向にあり、当該路線の整備による、抜本的な対策が必要となっています。

空港道路と並行する産業道路の平成16年度における年間 渋滞損失時間は3,471千人・時間となっていますが、本路 線の整備により、削減されることが期待されます。

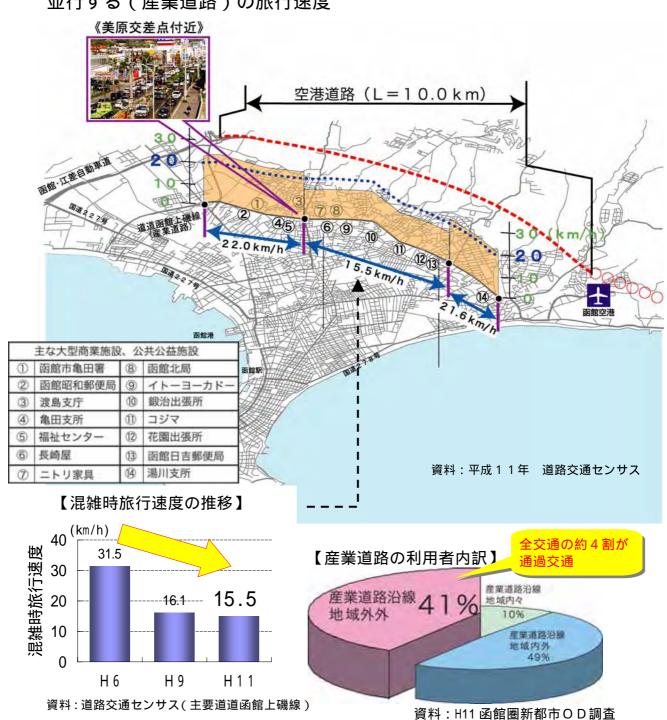
並行する(産業道路)の渋滞状況(3Dマップ)



近年、当該路線に並行する産業道路の沿線には、大型商業施設や公共公益施設の集積が進んでおり、美原地区等では混雑時旅行速度が20km/hを下回っています。

また、産業道路を通行する交通のうち、約4割が通過交通 であることから、当該路線の整備により、日常的な生活交通 と、観光・物流などの広域的な通過交通の輻輳が解消され、 産業道路における旅行速度の向上が期待されます。

並行する(産業道路)の旅行速度

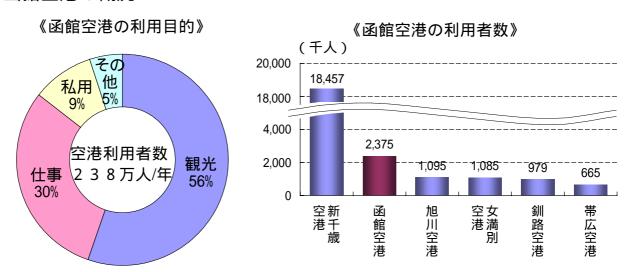


「第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場 へのアクセス向上が見込まれる」

函館空港は、年間200万人以上が利用しており、利用者数が新千歳空港に次いで道内第2位となっています。函館空港に就航する定期航空路線は、国内線27便/日、国際線2便/週(ユジノサハリンスク)となっています。

空港道路の整備により、高規格幹線道路と一体的な高速交通ネットワークが形成され、空港利用圏の拡大が図られます。

函館空港の概況



資料:東京航空局 函館空港事務所 H13航空旅客動熊調査

資料:北海道開発局港湾空港部(H15)

函館空港利用圏の拡大(90分圏域)



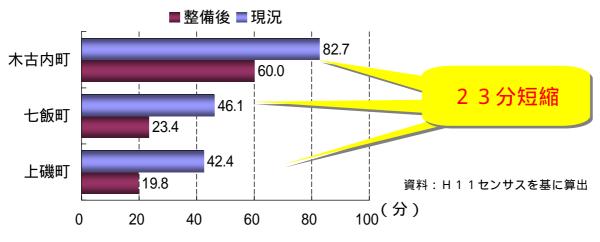
資料: H 1 1 道路交通センサスを基に算出 市町村区分は、H 1 7.1 0 時点 また、当該路線以西の七飯町や上磯町等から函館空港へのアクセス向上が見込まれ、空港利用者の利便性・定時性が向上することにより、さらなる利用者の増加が期待されます。

函館空港までのアクセス向上

【函館空港までのアクセス経路の変化】



《空港までの所要時間の変化》



「現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する」

当該路線に並行する産業道路は、往復合わせて18系統225便/日の路線バスが運行されている重要な路線です。しかし、朝夕のピーク時等には、交通渋滞の発生により、円滑なバスの通行が妨げられています。

空港道路の整備により、産業道路の交通渋滞が緩和され、 バス路線の利便性向上や定時性の確保が期待されます。

バス路線の概況



【バス事業者の声】

- ・ 以前は、一般国道 5 号は渋滞しており、定時性が確保出来ない状態でしたが、函館新道の整備により、渋滞が解消され、バスダイヤが守れるようになりました。
- ・ 空港道路の整備においても、函館新道と同様に、産業道路の渋滞解消による定時性の確 保を期待しています。

資料:函館バスヒアリング

「主要な観光地へのアクセス向上が期待される」

道南地域は、湯の川温泉や大沼国定公園等を有する北海道を代表する観光地であり、平成16年度における観光入込客数は、約1,330万人となっています。また、函館市の観光入込客数は、500万人を超えるとともに、他の主要な観光地と比べ、道外客の割合が高くなっています。

函館市を訪れる観光客の来街交通手段は、バス・乗用車といった自動車交通の割合が約60%と高いことから、当該道路の整備により、道央方面への広域的な観光や、函館を中心とする道南地域の周遊観光、及び近年ニーズが高まっているレンタカーを利用した個人型の多様な旅行を支援する役割が期待されます。

空港道路の整備による効果

《函館から道央方面への広域観光ルート》



《函館、道央方面の観光形態》

1日目: 函館空港イン 函館市内観光 湯の川宿泊

2日目:湯の川 大沼 道央方面 札幌宿泊

3日目: 札幌 新千歳空港アウト

資料:大手旅行会社ヒアリングより 観光入込客数はH16実績 統計の数値は合併前のデー

【湯の川 - 大沼公園間の所要時間】

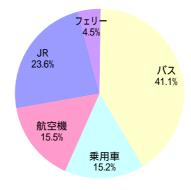


資料:H11センサスを基に算出

《観光入込客数に占める道外観光客の割合》



《函館市を訪れる観光客の来街交通手段》



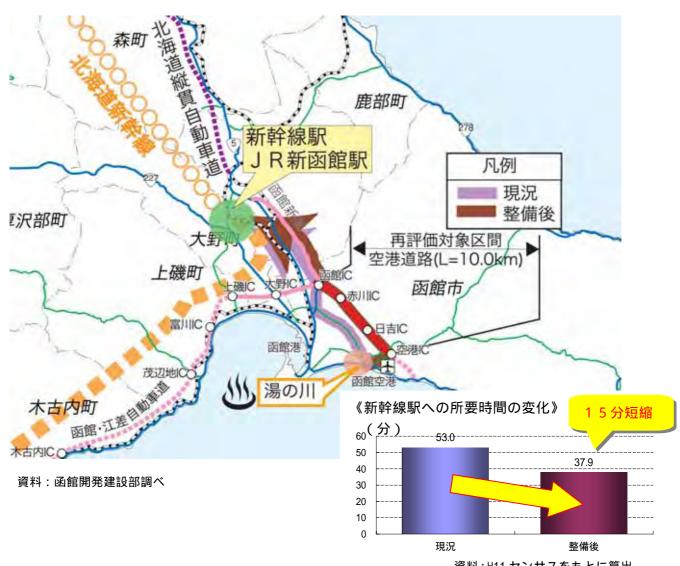
資料:函館市調べ(H16)

「新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる」

北海道新幹線は、新青森駅より函館市付近・小樽市付近を 経て札幌市に至る延長約360kmの路線であり、平成17 年5月には新青森・新函館間の起工式が行われました。

当該事業の整備により、函館市湯の川方面等から新幹線駅までの所要時間が短縮されることから、新幹線利用に対する観光客、地域住民の利便性の向上が期待されます。

新幹線駅までのアクセス向上の状況



「農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の 利便性向上が見込まれる」

豊かな自然環境を背景として、当該路線周辺では、水産物が年間約70億円水揚げされており、道南地域全体の約1割を占めています。森町のカニ、知内町のカキ等が、函館空港から東京・大阪・福岡方面へ出荷されています。

当該路線の整備により、函館空港から道外に出荷される品目の流通の利便性向上が期待されます。

農林水産品の流通の利便性向上《空港貨物の流動状況》



物流業者の声

- ・ 産業道路の渋滞は、時間帯や場所により慢性的に発生しています。
- ・ 空港道路が整備されることにより、函館空港までの所要時間の短縮が期待されます。 物流業者ヒアリングより

「広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成す る」

客観的評価指標

「地域高規格道路の位置づけあり」

客観的評価指標

「関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり」

当該路線を含む函館新外環状道路は、広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成し、北海道縦貫自動車道や函館新道及び函館江差自動車道と一体となって、道南圏の高速交通ネットワークを構成する地域高規格道路となっています。



《広域道路整備基本計画》

広域道路整備基本計画は、全道レベルから市町村レベルに至るまでの、広域的な社会交流を支えるとともに、地域の連携を促すネットワークとして、高規格道路と一体的に機能する広域的な幹線道路網の整備を促進するための計画です。



「拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する」

当該路線の沿線には「函館臨空工業団地」「北海道立 道南四季の杜公園」「函館テクノパーク」「上磯工業団地」が整備されています。

このうち、函館臨空工業団地には10社が立地し、約800人の従業員が働いています。平成15年度における同工業団地の工業製品出荷額は約200億円となっており、旧函館市の7%を占めています。

また、平成17年4月から全面オープンした道南四季の杜公園は、総面積が65.1haの道立公園であり、平成16年度の利用者数は約28万人となっています。

当該道路の整備により、これらの地域プロジェクトの支援 が期待されます。

地域プロジェクトの概要

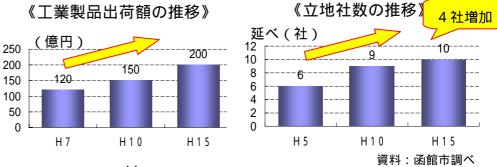


【工業団地立地企業の声】

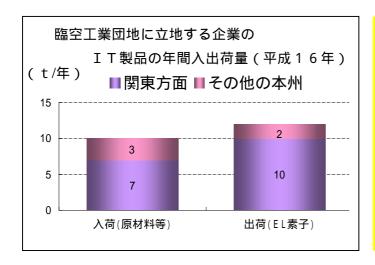
- ・ 産業道路が渋滞しているため に、運送業者の集荷時間が遅れ たりすることがあります。
- ・産業道路の渋滞緩和により、 物流の効率化や通勤時間等の 短縮を期待しています。

企業ヒアリングより

【臨空工業団地の概要】



また、函館臨空工業団地等ではIT・ソフトウェア関連企業などの最先端技術産業が立地しており、当該道路の整備により、各工業団地から函館空港へのアクセス向上が図られるため、先端技術産業の活性化が期待されます。



【工業団地立地企業の声】

- ・製品出荷、材料仕入のほとんどが航空便 を利用しているため、空港道路の利用に より輸送時間の効率化が図られます。
- ・ 空港道路の整備により、従業員の通勤時間の短縮や工業団地への新たなアクセスルートが出来ることによる利便性の向上を期待しています。

企業ヒアリングより

《地域プロジェクトの概要》

市町村名	プロジェクト名	プロジェクト概要
函館市	函館臨空工業団地	【現 況】昭和63年第1次分譲開始、平成16年第2次分譲開始、 現在10社が立地 【工業団地面積】59.6ha 【工場等用地面積】 27.3ha 【分譲済面積】 20.6ha 【立地企業の業種】機械部品・食料品製造業 他
函館市	北海道立 道南四季の杜公園	【現 況】平成 15 年 7 月に一部オープンし、 平成 17 年 4 月に全面オープン【公園総面積】65.1ha【年間利用者数】約 28 万人(H16)【駐車場容量】合計 700 台【利用料金】無料
函館市	函館テクノパーク	【現況】平成 10 年分譲開始、現在 7 社が立地 【工業団地面積】6.5ha 【工場等用地面積】 2.3ha 【分譲済面積】 1.1ha 【立地企業の業種】情報サービス業他
上磯町	上磯工業団地	【現況】昭和 60 年分譲開始(テクノポリス工業団地) 平成 4 年分譲開始(追分地区農工団地)、現在 66 社が立地 【工業団地面積】35.9ha 【工場等用地面積】 31.7ha 【分譲済面積】 31.7ha 【立地企業の業種】製造業、運送業他

資料:函館開発建設部調べ

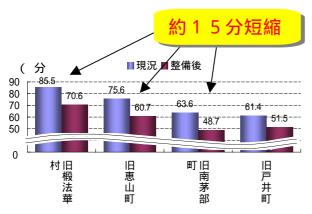
「三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる」

道南圏では、三次医療施設として函館市立病院が管内の高次医療を支えています。近隣市町村からは、近年、函館市への救急搬送件数が増加傾向にあります。

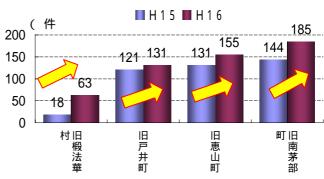
当該路線の整備により、三次医療施設へのアクセスが向上するため、生活環境の向上や救命率の向上が期待されます。



【市町村からのアクセス時間の変化】



【函館への緊急搬送件数】

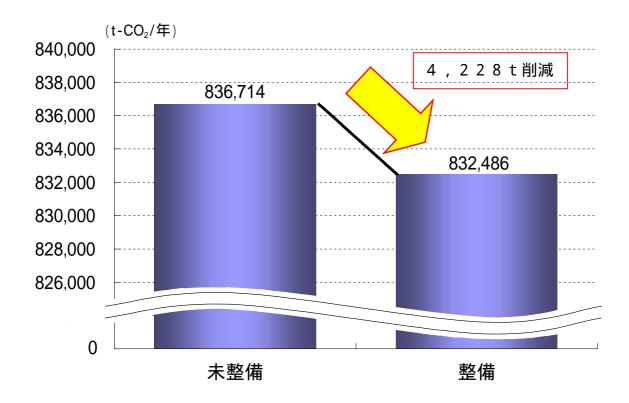


資料:函館開発建設部調べ

「対象道路の整備により削減される自動車からの CO_2 排出量」

平成15年度における国内の二酸化炭素総排出量は、12億5,900万($t-CO_2/$ 年)、1人あたりの排出量は9.87($t-CO_2/$ 年)となっています。

当該道路の整備により、整備されない場合に比べ 4, 2 2 8 (t - CO₂/年) の削減が見込まれます。これを一人あたりの年間排出量に換算した場合、約 4 3 0 人分の排出量に相当します。



資料:北海道開発局調べ

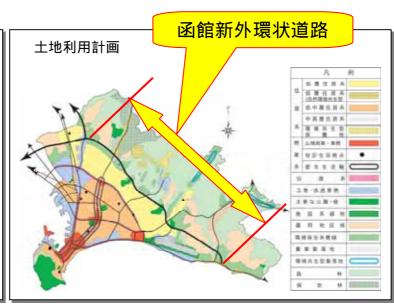
「その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属 さない効果が期待される」

《空港道路を外郭フレームとしたコンパクトなまちづくり》

近年、函館市では、都市機能の拡散や市街地の拡大に伴い、 中心市街地の空洞化が進行しています。

函館新外環状道路は、沿道アクセスを制限する自動車専用道路であるため、当該路線の整備により、市街地の外延化が抑制され、効率的でコンパクトなまちづくりの実現が期待されます。





コンパクトなまちづくりのイメージ





(2)事業の投資効果

費用対効果分析の結果 事業全体

費用

			事業費	維持管理費	合 計
基	基 準 年 平成17年度				
単	純 合	計	3 7 7 億円	6 5 億円	4 4 1 億円
基準年における 現在価値(C)			2 8 8 億円	2 2 億円	3 1 0 億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年		平成 1	7年度	
単 年 便 益 (初年便益)	6 4 億円	9 億円	6 億円	7 9 億円
基準年における 現在価値(B)	8 5 4 億円	1 2 1 億円	7 3億円	1,048億円

結果

費用便益比(B/C)	3 . 4
------------	-------

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。 また、費用及び便益は、ともに暫定2車線整備として算出している。

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	15,000~19,600 台/日	± 1 0 %	3 . 0 ~ 3 . 7
事業費	3 7 7 億円	± 1 0 %	3 . 1 ~ 3 . 7
事業期間	9年	± 2年	3 . 1 ~ 3 . 6

費用対効果分析の結果 - 残事業 -

費用

			事 業 費	維持管理費	合 計
基準年		平成17年度			
単	純合	計	3 7 7 億円	6 5 億円	4 4 1 億円
基準年における 現在価値(C)			2 8 8 億円	2 2 億円	3 1 0 億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年		平成 1	7年度	
単 年 便 益 (初年便益)	6 4 億円	9 億円	6 億円	7 9 億円
基準年における 現在価値(B)	8 5 4 億円	1 2 1 億円	73億円	1,048億円

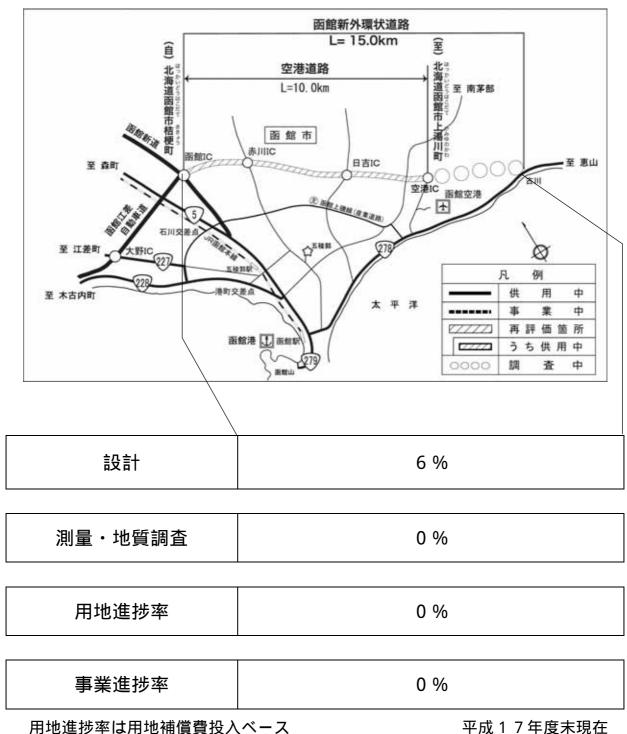
結果

|--|

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。 また、費用及び便益は、ともに暫定2車線整備として算出している。

(3)事業の進捗状況

函館新外環状道路空港道路は、平成17年度末現在で、設計 進捗率6%となっています。



用地進捗率は用地補償費投入ベース 事業進捗率は事業費投入ベース

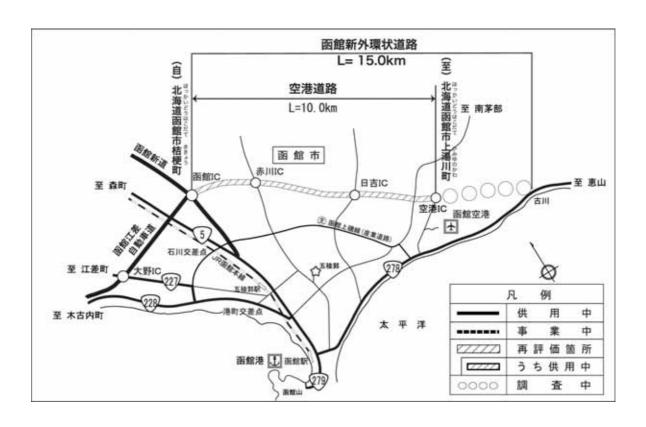
平成1/年度末現在

凡例:数字は進捗率

3.事業の進捗の見込み

当該事業は、平成13年度に新規着工準備区間となり、都市計画変更や環境アセスメント等の手続きを進めています。

今後の見込みについては、引続き事業が順調に進んだ場合、 平成20年代後半の事業完了を予定しています。



4.コスト縮減や代替案立案等の可能性

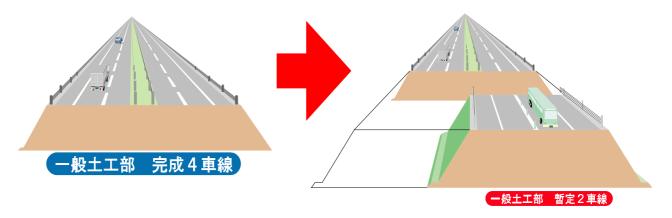
当該事業においては、以下のコスト縮減対策に取り組んでいます。

施策名	内容
計画手法の見直し	・暫定2車線供用による初期投資の軽減、早期効果発現
設計手法の見直し	・補強土壁の採用など構造物設計の検討

また、これまでの取り組みを継続実施することに加え、公共 事業の全てのプロセスをコストの観点から見直す「国土交通省 公共事業コスト構造改革プログラム」に取り組むこととしてい ます。

《計画手法の見直し》

空港道路は完成4車線で計画されていますが、当面、2車線のみの施工を行い、初期投資を軽減し、早期発現効果を目指します。



《設計手法の見直し》

構造物の縮小化など設計の見直しをします。

5. 関係する地方公共団体等の意見

期成会名称	会長	主な構成メンバー	備考
北海道渡島総合開発期成会	函館市長 井上博司	函館市、松前町、 福島町、知内町、 木古内町、上磯町、 大野町、七飯町、 鹿部町、森町、八 雲町、長万部町の 首長及び議会議長	高規格幹線道路網は、地域間の交流、連携に必要不可欠であり、整備促進を要望(H17年度要望あり)
北海道渡島管 内商工会連合 会	渡島管内 商工会連 合会養 花巻	大南磯市亀 内町、大南磯市亀沢 大南野部、鹿田、福野、大東野部、田、福島町、大東山山県、石山山県、田山県、田山県、田川、八商田、田川、八商田、田川、八商田、田川、八商田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田田、田	函館圏域は生活圏 の広域化等により 車両交通量の増 で幹線道路の渋 が深刻化して り、早期整備を 望(H17年度要 り)
函館新外環状 線建設促進協 議会	函館市長 井上博司	函館市、上磯町、 大野町、七飯町、 各首長	地域産業・レクリエーション が観光・レクリエーション がいまた はいまた では できる できる かい でいまる はい でいまな できる から に関い できる から いっと できる はい いっと できる はい いっと はい
函館市	函館市長 井上博司	函館市長及び議会 議長	函館市と地域を結 ぶ広域交通ネットワーク の整備を要望(H17 年度要望あり)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道 2 7 8 号 函館新外環状道路 空港道路
事業主体	北海道開発局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠	
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	費用便益比(B / C)= 3 . 4	

事業の効果や必要性を評価するための指標

政	対策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠	
力	円滑なモビリ ティの確保	現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間b(当該区間/平行区間)について:(主要道道函館上磯線:現道) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:3,471千人・時間/年(H16値) 削減	
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間:主要道道函館上磯線 15.5km/h(H11) 改善	
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	利便性向上が見込まれるパス路線: 18系統 225便/日	
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅: JR新函館駅 改善見込み(函館市湯ノ川~新函館駅:53分 38分)	
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港:函館空港 対象自治体名:木古内町他 改善見込み(木古内町~函館空港:83分 60分)	
	物流効率化の支 援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる		
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	農林水産業を主体とする地域名:知内町、森町他 主な出荷先:知内町のカキ、森町のカニ(函館空港から東京・大阪・福岡方面)	
		現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		
	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	計画名:北海道広域道路整備基本計画 位置づけ:道南圏の高速交通ネットワークを構成する地域高規格道路	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		
		中心市街地内で行う事業である		
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		

i	i F		
		対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道 (A' 路線) としての位置づけあり	
		地域高規格道路の位置づけあり	平成 1 2 年度 整備区間指定
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する (A'路線としての位置づけがある場合)	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の 形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	函館市「函館臨空工業団地」、「函館テクノパーク」、上磯町「上磯工業団地」、 函館市「北海道立道南四季の杜公園」
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	函館市「函館山」156万人/年、函館市「五稜郭」70万人/年、函館市「湯ノ川温泉」155万人/年
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2.暮らし	歩行者・自転車の ための生活空間 の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において 新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心でき るくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設:市立函館病院 アクセス向上が見込まれる自治体名:旧椴法華村・旧恵山町・旧南茅部町・旧 戸井町 旧椴法華村 - 函館市86分 71分
3 . 安全	安全な生活環境 の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又 は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)とし て位置づけあり	
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A' 路線としての位置づけがある場合)	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
-			

4 . 環境 :	地球環境の保全		C O 2 排出削減量: 4 , 2 2 8 t/年
ŀ	生活環境の改 善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	
ļ		現道等における自動車からのSPM排出削減率	
ļ		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待され る区間がある	
J		その他、環境や景観上の効果が期待される	
	他のプロジェクトとの関係	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	計画名:北海道広域道路整備基本計画 位置づけ:道南圏の高速交通ネットワークを構成する地域高規格道路
ļ		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	当該事業を外郭フレームとしたコンパクトなまちづくりを支援

費用便益分析の結果

路線名	路線名事業名		事業種別	現拡・BPの別
函館新外環状道路 (一般国道278号)	空港道路	L = 1 0 . 0 k m	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体	
15,000 ~ 19,600	2	北海道開発局	

費用

	改築費	維持修繕費	合 計
基準年		平成 17 年度	
単純合計	377億円	65億円	441億円
うち残事業分	377億円	65億円	441億円
基準年における 現在価値 (C)	288億円	22億円	310億円
うち残事業分	288億円	22億円	310億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計		
基準年		平成17年度				
供用年	平成28年度					
単年便益 (初年便益)	64億円	9億円	6億円	79億円		
基準年における 現在価値 (B)	854億円	121億円	73億円	1,048億円		
うち残事業分	854億円	121億円	73億円	1,048億円		

結 果

費用便益比(事業全体)	3.4	
費用便益比(残事業)	3.4	

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析 (全体事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	15,000 ~ 19,600	± 10%	3.0 ~ 3.7
事業費	377億円	± 10%	3.1 ~ 3.7
事業期間	9年	± 20%	3.1 ~ 3.6
割引率			

交通状況の変化

事業名:空港道路(全体事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
① 新設 .	办筑省玖	交通量	[台/日]	0	17, 900
①新設・改築道路 [バイパス等] : 10.0km		走行時間	[分]	0	13
. 10	. UKIII	走行時間費用	[億円/年]	0.00	68. 22
	主)函館	交通量	[台/日]	27, 700	19, 200
	上磯線: 9.5km	走行時間	[分]	16	15
	9. JKIII	走行時間費用	[億円/年]	128. 31	78. 44
	国道278 号 : 6. 0km	交通量	[台/日]	13, 200	8, 100
		走行時間	[分]	12	9
②主な周		走行時間費用	[億円/年]	41. 65	19. 41
辺道路	主)函館 南茅部 線:	交通量	[台/日]	20, 400	18, 100
		走行時間	[分]	12	11
	5. 4km	走行時間費用	[億円/年]	61. 44	53. 67
	国道5	交通量	[台/日]	28, 700	27, 400
	国連5 号: 3.9km	走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	51. 73	48. 99
	道路合計 9.2km	走行時間費用	[億円/年]	42940. 93	42890. 88

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 21034.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	43224. 05	43159. 61	64. 44

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

【 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)】



交通状況の変化

事業名:空港道路(残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新型.	改築道路	交通量	[台/日]	0	17, 900
[バイル	以来追出 パス等]). 0km	走行時間	[分]	0	13
. 10). UKIII	走行時間費用	[億円/年]	0.00	68. 22
	主)函館	交通量	[台/日]	27, 700	19, 200
	上磯線: 9.5km	走行時間	[分]	16	15
	9. JKIII	走行時間費用	[億円/年]	128. 31	78. 44
	国道278 号 : 6.0km	交通量	[台/日]	13, 200	8, 100
		走行時間	[分]	12	9
②主な周	. U. UKIII	走行時間費用	[億円/年]	41. 65	19. 41
辺道路	主)函館	交通量	[台/日]	20, 400	18, 100
	南茅部 線:	走行時間	[分]	12	11
	5. 4km	走行時間費用	[億円/年]	61. 44	53. 67
	国道5	交通量	[台/日]	28, 700	27, 400
	国理5 号: 3.9km	走行時間	[分]	7	7
	J. YKIII	走行時間費用	[億円/年]	51. 73	48. 99
	.道路合計 9.2km	走行時間費用	[億円/年]	42940. 93	42890. 88

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 21034.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	43224. 05	43159. 61	64. 44

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

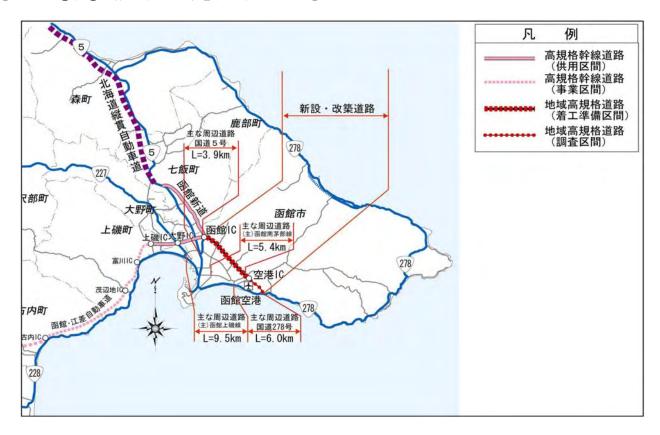
※1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

【 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)】



費用便益分析の条件

事業名:空港道路

(2 <u>)</u>

算出マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) その他 分析の基本的事項 社会的割引率 基準年次 中成17年	(2	J	項目	チェック欄
第出マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) その他 分析の基本的事項 社会的割引率 4% 基準年次 平成17年 で	-			ノエフノ11末
その他		算出マニュアル		
対象の基本的事項				△∩年間
基準年次 平成17年	4	分析の基本的事項		
で通流の 推計時点 (H42) 複数時点での推計 複数時点での推計 整備の有無それぞれで交通流を推計 整備の有無のいずれかのみ推計 有 無 道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) (H11センサス)				
推計時点 複数時点での推計 整備の有無それぞれで交通流を推計 整備の有無のいずれかのみ推計 有 無 道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他(交通流の		
整備の有無のいずれかのみ推計 有 無 道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他() 無 有 有 場慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 者慮した開発交通量(トリップ数) で ()台トリップ/日 者慮した配分 () を放棄式を用いた配分 () を放棄式を用いた配分 () を放棄式を用いた配分 () を放配分() なり変配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 物質配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 物質配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 物質配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) は				(=)
整備の有無のいずれかのみ推計 有 無 道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他() 無 有 有 場慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 者慮した開発交通量(トリップ数) で ()台トリップ/日 者慮した配分 () を放棄式を用いた配分 () を放棄式を用いた配分 () を放棄式を用いた配分 () を放配分() なり変配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 物質配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 物質配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 物質配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) は			整備の有無それぞれで交通流を推計	
## は は は は は は は は は は は は は は は は は は		推計の状況		有 無
# # # # # # # # # # #				13 ////
## ITIC. PRINT (ロリップ リップ に関係 できない できない できない できない できない できない できない できない				(H11センサス)
(四段階推定法)				(
その他(℧ⅅ表		
無 有			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
通流 推計	₹ <u>></u>			
# 計				()台川ップ/日
記		考慮		() [] [] [] []
R				
配分交通量の 推計手法 クリンクパフォーマンス関数を用いた配分) 簡易手法 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他() 各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。	н '		O - ∀式を用いた配分	
RO - V式と転換率式の併用による配分 均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 簡易手法 簡易手法 簡易手法の 場合 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他() 各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載 遠度設定の 考え方 最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。				
対衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 簡易手法 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他() その他() との他() との他() とのを交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載 採用理由を記載 張度設定の 最終配分の速度 採用理由を記載 張修配分の速度 採用理由を記載 採用理由を記載 採用理由を記載 大変に対して設定 採用理由を記載 大変に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して設定 接続に対して表述 は表述 接続に対して表述 を表述 を表述				
#計手法 簡易手法		- 0 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		
小規模事業である 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他() その他() 各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載				
調子法の 山間部海岸部で併行道路が少ない その他(が が が が が が が が り り り り り り り り り り り り	小規模事業である	
その他() その他()			簡易手法の山田郊海岸郊で併行道のが小ない	
その他(-% I	
各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載 速度設定の 考え方 最終配分の速度 採用理由を記載交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。			·	
採用理由を記載 速度設定の 考え方 最終配分の速度 採用理由を記載交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。				
採用理由を記載 速度設定の 考え方 最終配分の速度 採用理由を記載交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。			して設定	
考え方 最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。				
考え方 最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。		本在記令の		
最終配分の速度 採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。				
採用理由を記載 交通容量超過時の最低速度が最高速度の1/2と比較的高い設定であるため。		-5~N	最終配分の速度	
Z-0/th/				勺高い設定であるため。
2.0/4/				
			その他(

(3)

	,		項目	チェック欄
		考慮しない	投口	ノ エ ソ ノ 1(R)
		考慮する	工的上 表点	
			面的に考慮	
	休日交通の		対象路線のみ考慮	
	影響	考慮する	採用した休日係数	(98)%
	***	場合のみ	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え	
			北海道の道路においては観光目的の交通など休日の交 状況と異なる。そのため、沿道状況別に休日交通を考慮 成11年度道路交通センサスにおける北海道その他市街 量比0.98を採用した。	むた。休日係数は、平
	交通流推計の	平成15年8月	月12日付け事務連絡に基づく設定	
	時点以外の	その他		
	便益の算定	()	
便		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用	
益		独自に設定し		
<u></u>	車種別時間 価値原単位	算出根拠を添		
算		休日の乗用車類の	マニュアルの値を使用し、休日の乗用車類についてマニュアル値 D時間評価値原単位は、平成11年度道路交通センサスにおける ³ .37人/台、休日:1.87人/台)	
定		費用便益分析	fiマニュアルの値を使用	
	車種別走行	独自に設定し		
	経費原単位	算出根拠を添		
	1122131 12			
	六洛市北洋小	ᆎᅭᄼᄾᅘᄮᄬᄼ	D.左位 + 老佬	
	交通事故減少 便益算定	中央分離帯の		
	<u> </u>		D有無を考慮しない Page 1	
	┃ ┃ 時間短縮·費用減	考慮しない		
	少·事故減少以外	考慮する		
	の便益	(考慮の場合、	算出根拠を添付すること)	
	その他			
		+¥ (m == 4k + 1 =	=	
	+ ** #		画による値を採用 <u></u>	
	事業費	標準投資パタ	ターンを採用 アーンを採用	
費		その他()	
用		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用	
の	維持管理費	事務所等の第	実績値より設定	
算		その他()	
定	雪寒費		は寒冷地域である	
~_	その他	1123-0-307	10.274.0.4 600	
	一つ			
4	7.0/4			
4.	その他	この祭中にも		
	上記のはか、B/	しの昇正にあ	たっての問題点があれば、記述。	
•••••				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 実績値

箇所名∶空港道路		単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)		
				0.17	10.0	1.70
		割戻率	事業費		維持修繕	
年次	年度		単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-9年目	H 19	0.9246	29.10	26.91	0.00	0.00
-8年目	H 20	0.8890	29.10	25.87	0.00	0.00
-7年目	H 21	0.8548	24.83	21.22	0.00	
-6年目	H 22	0.8219	24.83	20.41	0.00	
-5年目	H 23	0.7903	88.40	69.86	0.00	0.00
-4年目	H 24	0.7599	68.00	51.67	0.00	0.00
-3年目	H 25	0.7307	68.00	49.69	0.00	0.00
-2年目	H 26	0.7026	39.83	27.98	0.00	0.00
-1年目	H 27	0.6756	4.58	3.09	0.00	
供用開始年次	H 28	0.6496	0.00	0.00	1.62	
1年目	H 29	0.6246	0.00	0.00	1.62	1.01
2年目	H 30	0.6006	0.00	0.00	1.62	0.97
3年目	H 31	0.5775	0.00	0.00	1.62	0.94
4年目	H 32	0.5553	0.00	0.00	1.62	0.90
5年目	H 33	0.5339	0.00	0.00	1.62	0.86
6年目	H 34	0.5134	0.00	0.00	1.62	0.83
7年目	H 35	0.4936	0.00	0.00	1.62	0.80
8年目 9年目	H 36	0.4746	0.00	0.00	1.62	0.77
	H 37 H 38	0.4564 0.4388	0.00	0.00 0.00	1.62 1.62	0.74
11年目	H 39	0.4220	0.00 0.00	0.00	1.62	0.71 0.68
12年目	H 40	0.4220	0.00	0.00	1.62	0.66
13年目	H 41	0.3901	0.00	0.00	1.62	0.63
14年目	H 42	0.3751	0.00	0.00	1.62	0.61
15年目	H 43	0.3607	0.00	0.00	1.62	0.58
16年目	H 44	0.3468	0.00	0.00	1.62	0.56
17年目	H 45	0.3335	0.00	0.00	1.62	0.54
18年目	H 46	0.3207	0.00	0.00	1.62	0.52
19年目	H 47	0.3083	0.00	0.00	1.62	0.50
20年目	H 48	0.2965	0.00	0.00	1.62	0.48
21年目	H 49	0.2851	0.00	0.00	1.62	0.46
22年目	H 50	0.2741	0.00	0.00	1.62	0.44
23年目	H 51	0.2636	0.00	0.00	1.62	0.43
24年目	H 52	0.2534	0.00	0.00	1.62	0.41
25年目	H 53	0.2437	0.00	0.00	1.62	0.39
26年目	H 54	0.2343	0.00	0.00	1.62	0.38
27年目	H 55	0.2253	0.00	0.00	1.62	0.36
28年目	H 56	0.2166	0.00	0.00	1.62	0.35
29年目	H 57	0.2083	0.00	0.00	1.62	
30年目	H 58	0.2003	0.00	0.00	1.62	0.32
31年目	H 59	0.1926	0.00	0.00	1.62	
32年目	H 60	0.1852	0.00	0.00	1.62	0.30
33年目	H 61	0.1780	0.00	0.00	1.62	0.29
34年目	H 62	0.1712	0.00	0.00	1.62	
35年目	H 63	0.1646	0.00	0.00	1.62	
36年目	H 64	0.1583	0.00	0.00	1.62	
37年目	H 65	0.1522	0.00	0.00	1.62	
38年目	H 66	0.1463	0.00	0.00	1.62	0.24
39年目	H 67	0.1407	0.00	-8.40	1.62	0.23
			070.07	000.00	04.00	04.05

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

376.67

376.67

288.30

64.80

64.80

21.65

合 計

単純事業費計

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 実績値

		採用単価の根拠	夫 領他					
箇所名∶空港道路		単価(億円)	単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円					
				0.17	10.0	1.70		
		割戻率	事業費		維持修繕			
年次	年度	1300	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値		
-9年目	H 19	0.9246	29.10	26.91	0.00	0.00		
-8年目	H 20	0.8890	29.10	25.87	0.00	0.00		
-7年目	H 21	0.8548	24.83	21.22	0.00	0.00		
-6年目	H 22	0.8219	24.83	20.41	0.00	0.00		
-5年目	H 23	0.7903	88.40	69.86	0.00	0.00		
-4年目	H 24	0.7599	68.00	51.67	0.00	0.00		
-3年目	H 25	0.7307	68.00	49.69	0.00	0.00		
-2年目	H 26	0.7026	39.83	27.98	0.00	0.00		
-1年目	H 27	0.6756	4.58	3.09	0.00	0.00		
供用開始年次	H 28	0.6496	0.00	0.00	1.62	1.05		
1年目	H 29	0.6246	0.00	0.00	1.62	1.01		
2年目	H 30	0.6006	0.00	0.00	1.62	0.97		
3年目	H 31	0.5775	0.00	0.00	1.62	0.94		
4年目	H 32	0.5553	0.00	0.00	1.62	0.90		
5年目	H 33	0.5339	0.00	0.00	1.62	0.86		
6年目	H 34	0.5134	0.00	0.00	1.62	0.83		
7年目	H 35	0.4936	0.00	0.00	1.62	0.80		
8年目	H 36	0.4746	0.00	0.00	1.62	0.77		
9年目	H 37	0.4564	0.00	0.00	1.62	0.74		
10年目	H 38	0.4388	0.00	0.00	1.62	0.71		
11年目	H 39	0.4220	0.00	0.00	1.62	0.68		
12年目	H 40	0.4057	0.00	0.00	1.62	0.66		
13年目	H 41	0.3901	0.00	0.00	1.62	0.63		
14年目	H 42	0.3751	0.00	0.00	1.62	0.61		
15年目	H 43	0.3607	0.00	0.00	1.62	0.58		
16年目	H 44	0.3468	0.00	0.00	1.62	0.56		
17年目	H 45	0.3335	0.00	0.00	1.62	0.54		
18年目	H 46	0.3207	0.00	0.00	1.62	0.52		
19年目	H 47	0.3083	0.00	0.00	1.62	0.50		
20年目	H 48	0.2965	0.00	0.00	1.62	0.48		
21年目	H 49	0.2851	0.00	0.00	1.62	0.46		
22年目	H 50	0.2741	0.00	0.00	1.62	0.44		
23年目	H 51	0.2636	0.00	0.00	1.62	0.43		
24年目	H 52	0.2534	0.00	0.00	1.62	0.41		
25年目	H 53	0.2437	0.00	0.00	1.62	0.39		
26年目	H 54	0.2343	0.00	0.00	1.62	0.38		
27年目	H 55	0.2253	0.00	0.00	1.62	0.36		
28年目	H 56	0.2166	0.00	0.00	1.62	0.35		
29年目	H 57	0.2083	0.00	0.00	1.62	0.34		
30年目	H 58	0.2003	0.00	0.00	1.62	0.32		
31年目	H 59	0.1926	0.00	0.00	1.62	0.31		
32年目	H 60	0.1852	0.00	0.00	1.62	0.30		
33年目	H 61	0.1780	0.00	0.00	1.62	0.29		
34年目	H 62	0.1712	0.00	0.00	1.62	0.28		
35年目	H 63	0.1646	0.00	0.00	1.62	0.27		
36年目	H 64	0.1583	0.00	0.00	1.62	0.26		
37年目	H 65	0.1522	0.00	0.00	1.62	0.25		
38年目	H 66	0.1463	0.00	0.00	1.62	0.24		
39年目	H 67	0.1407	0.00	-8.40	1.62	0.23		
合 計			376.67	288.30	64.80	21.65		

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

376.67

64.80

単純事業費計

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:函館新外環状道路(一般国道278号)空港道路

							图711日,四品别了场外足时(一次国足270万)工化足时													合	計
	年度	総走行台	計の年次が	引伸び率	割引率			走行時間短網	宿便益(億円)					走行経費減	少便益(億円)			事故減少便	益(億円)		(億円)
	(基準年)		北海道ブロック	(ל							現在価値						現在価値		現在価値	便益合計	現在価値
年次	H 1 7	714713 1 700	貨物車類	全 車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	× (A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	(A) ×		× (A)	(~)	割戻率4%
17 (7 (3 (7 (3 7 H) 1 7 7 C	H 28		0.99732	1.00453	0.6496	51.73	0.00	4.16	8.17	64.06	41.61	5.38	0.00	1.31	2.54	9.23	6.00		3.57	78.79	51.18
1年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6246	52.08	0.00	4.15	8.15	64.38	40.21	5.42	0.00	1.31	2.53	9.26	5.78		3.45	79.16	49.44
2年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.6006	52.43	0.00	4.14	8.13	64.70	38.86 37.55	5.46	0.00	1.31	2.52	9.29	5.58		3.33	79.53	47.77
	H 31		0.99730	1.00447	0.5775	52.78	0.00	4.13	8.11	65.02	37.55 36.28	5.50	0.00	1.31	2.51 2.50	9.32	5.38		3.21	79.90 80.27	46.14 44.57
	H 33	1.00670	0.99729	1.00445 0.99837	0.5553 0.5339	53.13 53.11	0.00	4.12 4.10	8.09 8.04	65.34 65.25	36.28	5.54 5.54	0.00	1.31 1.30	2.50	9.35 9.33	5.19 4.98		3.10 2.97	80.27	44.57
6年目	п 33 Н 34	0.99969	0.99414	0.99837	0.5339	53.11	0.00	4.10	7.99	65.16	33.45	5.54	0.00	1.30	2.49	9.33	4.90		2.85	80.03	42.79
	H 35	0.00000	0.99410	0.99837	0.4936	53.09	0.00	4.06	7.99	65.07	32.12	5.54	0.00	1.28	2.40	9.29	4.70		2.74	79.91	39.45
	H 36		0.99407	0.99837	0.4936	53.07	0.00	4.00	7.89	64.98	30.84	5.54	0.00	1.27	2.47	9.29	4.40	5.54	2.63	79.71	37.87
9年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4740	53.03	0.00	4.04	7.84	64.89	29.62	5.54	0.00	1.26	2.40	9.25	4.22		2.52	79.67	36.36
	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4388	53.01	0.00	4.00	7.79	64.80	28.43	5.54	0.00	1.25	2.44	9.23	4.05		2.42	79.55	34.90
	H 39		0.99392	0.99836	0.4220	52.99	0.00	3.98	7.74	64.71	27.31	5.54	0.00	1.24	2.43	9.21	3.89		2.33	79.43	33.53
12年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.4057	52.97	0.00	3.96	7.69	64.62	26.22	5.54	0.00	1.23	2.42	9.19	3.73		2.23	79.31	32.18
	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3901	52.95	0.00	3.94	7.64	64.53	25.17	5.54	0.00	1.22	2.41	9.17	3.58		2.14	79.19	30.89
	H 42		0.99381	0.99835	0.3751	52.93	0.00	3.92	7.59	64.44	24.17	5.54	0.00	1.21	2.40	9.15	3.43		2.06	79.07	29.66
15年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3607	52.82	0.00	3.90	7.56	64.28	23.19	5.53	0.00	1.20	2.39	9.12	3.29	5.47	1.97	78.87	28.45
16年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3468	52.71	0.00	3.88	7.53	64.12	22.24	5.52	0.00	1.19	2.38	9.09	3.15	5.46	1.89	78.67	27.28
17年目	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3335	52.61	0.00	3.86	7.50	63.97	21.33	5.51	0.00	1.18	2.37	9.06	3.02	5.45	1.82	78.48	26.17
18年目	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3207	52.50	0.00	3.84	7.47	63.81	20.46	5.50	0.00	1.17	2.36	9.03	2.90	5.44	1.74	78.28	25.10
19年目	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.3083	52.40	0.00	3.82	7.44	63.66	19.63	5.49	0.00	1.16	2.35	9.00	2.77	5.43	1.67	78.09	24.07
20年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2965	52.29	0.00	3.80	7.41	63.50	18.83	5.48	0.00	1.15	2.34	8.97	2.66		1.61	77.89	23.10
	H 49	0.99799	0.99529	0.99738	0.2851	52.18	0.00	3.78	7.38	63.34	18.06	5.47	0.00	1.14	2.33	8.94	2.55		1.54	77.69	22.15
	H 50	0.99799	0.99527	0.99738	0.2741	52.08	0.00	3.76	7.35	63.19	17.32	5.46	0.00	1.13	2.32	8.91	2.44		1.48	77.50	21.24
23年目	H 51	0.99798	0.99525	0.99737	0.2636	51.97	0.00	3.74	7.32	63.03	16.61	5.45	0.00	1.12	2.31	8.88	2.34		1.42	77.30	20.37
Z-I-T-H	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2534	51.87	0.00	3.72	7.29	62.88	15.93	5.44	0.00	1.11	2.30	8.85	2.24		1.36	77.11	19.53
	H 53		0.99834	0.99734	0.2437	51.72	0.00	3.71	7.28	62.71	15.28	5.42	0.00	1.11	2.30	8.83	2.15		1.31	76.91	18.74
26年目	H 54	0.00.00	0.99834	0.99734	0.2343	51.57	0.00	3.70	7.27	62.54	14.65	5.40	0.00	1.11	2.30	8.81	2.06		1.26	76.71	17.97
	H 55		0.99834	0.99733	0.2253	51.42	0.00	3.69	7.26	62.37	14.05	5.38	0.00	1.11	2.30	8.79	1.98		1.21	76.51	17.24
	H 56		0.99833	0.99732	0.2166	51.27	0.00	3.68	7.25	62.20	13.47	5.36	0.00	1.11	2.30	8.77	1.90		1.16	76.31	16.53
	H 57	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	0.99833	0.99732	0.2083	51.12	0.00	3.67	7.24	62.03	12.92	5.34	0.00	1.11	2.30	8.75	1.82		1.11	76.11	15.85
** [H 58		0.99833	0.99731	0.2003	50.97	0.00	3.66	7.23	61.86	12.39	5.32	0.00	1.11	2.30	8.73	1.75		1.07	75.91	15.21
7.1	H 59	0.00.00	0.99833	0.99730	0.1926	50.82	0.00	3.65	7.22	61.69	11.88	5.30	0.00	1.11	2.30	8.71	1.68		1.02	75.71	14.58
V- 1 M	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1852	50.67 50.52	0.00	3.64 3.63	7.21 7.20	61.52 61.35	11.39 10.92	5.28 5.26	0.00	1.11 1.11	2.30 2.30	8.69 8.67	1.61 1.54		0.98 0.94	75.51 75.31	13.98 13.40
	H 61	0.0000	0.99832	0.99729	0.1780 0.1712		0.00	0.00					0.00		2.30	0.0.					13.40 12.85
34年目 35年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	50.37 50.22	0.00	3.62 3.62	7.19 7.18	61.18	10.47	5.24 5.22	0.00	1.11	2.30	8.65 8.63	1.48		0.90 0.87	75.11	12.85
	H 64	0.99698	0.99863	0.99727	0.1646 0.1583	50.22	0.00	3.62	7.18	61.02 60.85	10.04 9.63	5.22	0.00	1.11 1.11	2.30	8.63 8.61	1.42 1.36		0.87	74.92 74.72	12.33
	H 65		0.99894	0.99726	0.1583	49.89	0.00	3.62	7.17	60.85	9.63	5.20	0.00	1.11	2.30	8.59	1.36		0.83	74.72	11.82
	H 66	0.00000	0.99925	0.99725	0.1522	49.69	0.00	3.62	7.16	60.50	9.23 8.85	5.16	0.00	1.11	2.30	8.57	1.25		0.80	74.31	10.87
	H 67		0.99956	0.99725	0.1403	49.72	0.00	3.62	7.16	60.32	8.49	5.16	0.00	1.11	2.30	8.55	1.20		0.77	74.31	10.67
	11 07	0.000+0	0.00001	0.33124	0.1407	2.075.66	0.00	153.65	301.23	2.530.54	853.94	216.75	0.00	47.30	95.00	359.05	121.45	0.10	73.02	3.106.29	1.048.41
百計						2,075.66	0.00	153.65	301.23	2,530.54	853.94	216.75	0.00	47.30	95.00	359.05	121.45	216.70	73.02	3,106.29	1,048.4

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名:函館新外環状道路(一般国道278号)空港道路

						-	图/11日·四品别/1·场外层站(合	計
	年度	総走行台	計1の年次5	別伸び率	割引率			走行時間短網	宿便益(億円)					走行経費減	少便益(億円)			事故減少便	益(億円)		(億円)
	(基準年)	(:	北海道プロック	(ל							現在価値						現在価値		現在価値	便益合計	現在価値
年次	H 1 7	714713 1 700	貨物車類	全 車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	× (A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	(A) ×		× (A)	(~)	割戻率4%
17 (7 13 17 13 7 PM 1 17 C	H 28		0.99732	1.00453	0.6496	51.73	0.00	4.16	8.17	64.06	41.61	5.38	0.00	1.31	2.54	9.23	6.00		3.57	78.79	
1年目	H 29	1.00684	0.99731	1.00451	0.6246	52.08	0.00	4.15	8.15	64.38	40.21	5.42	0.00	1.31	2.53	9.26	5.78		3.45		
2年目	H 30	1.00679	0.99731	1.00449	0.6006 0.5775	52.43 52.78	0.00	4.14 4.13	8.13 8.11	64.70 65.02	38.86 37.55	5.46 5.50	0.00	1.31 1.31	2.52 2.51	9.29 9.32	5.58		3.33 3.21	79.53 79.90	
	H 31	1.00675	0.99730	1.00447	0.5775	52.78	0.00	4.13 4.12	8.11	65.02	37.55 36.28	5.50	0.00	1.31	2.51	9.32	5.38 5.19		3.21	79.90 80.27	46.14
	H 33	0.99969	0.99729	1.00445 0.99837	0.5339	53.13	0.00	4.12	8.09	65.25	36.28	5.54	0.00	1.31	2.50	9.33	4.98		2.97	80.27 80.15	
6年目	H 34		0.99414	0.99837	0.5339	53.11	0.00	4.10	7.99	65.16	33.45	5.54	0.00	1.29	2.49	9.33	4.78		2.85		
	H 35	0.00000	0.99410	0.99837	0.4936	53.03	0.00	4.06	7.94	65.07	32.12	5.54	0.00	1.28	2.40	9.29	4.70		2.74	79.91	
	H 36		0.99403	0.99837	0.4930	53.05	0.00	4.04	7.89	64.98	30.84	5.54	0.00	1.27	2.46	9.27	4.40	5.54	2.63	79.79	
9年目	H 37	0.99969	0.99400	0.99836	0.4564	53.03	0.00	4.02	7.84	64.89	29.62	5.54	0.00	1.26	2.45	9.25	4.22		2.52	79.67	
	H 38	0.99969	0.99396	0.99836	0.4388	53.01	0.00	4.00	7.79	64.80	28.43	5.54	0.00	1.25	2.44	9.23	4.05		2.42		
	H 39		0.99392	0.99836	0.4220	52.99	0.00	3.98	7.74	64.71	27.31	5.54	0.00	1.24	2.43	9.21	3.89		2.33	79.43	
12年目	H 40	0.99969	0.99389	0.99835	0.4057	52.97	0.00	3.96	7.69	64.62	26.22	5.54	0.00	1.23	2.42	9.19	3.73	5.50	2.23	79.31	
13年目	H 41	0.99969	0.99385	0.99835	0.3901	52.95	0.00	3.94	7.64	64.53	25.17	5.54	0.00	1.22	2.41	9.17	3.58	5.49	2.14	79.19	30.89
14年目	H 42	0.99969	0.99381	0.99835	0.3751	52.93	0.00	3.92	7.59	64.44	24.17	5.54	0.00	1.21	2.40	9.15	3.43	5.48	2.06	79.07	29.66
15年目	H 43	0.99801	0.99542	0.99743	0.3607	52.82	0.00	3.90	7.56	64.28	23.19	5.53	0.00	1.20	2.39	9.12	3.29	5.47	1.97	78.87	
16年目	H 44	0.99801	0.99540	0.99742	0.3468	52.71	0.00	3.88	7.53	64.12	22.24	5.52	0.00	1.19	2.38	9.09	3.15	5.46	1.89	78.67	
	H 45	0.99801	0.99538	0.99741	0.3335	52.61	0.00	3.86	7.50	63.97	21.33	5.51	0.00	1.18	2.37	9.06	3.02		1.82	78.48	
	H 46	0.99800	0.99536	0.99741	0.3207	52.50	0.00	3.84	7.47	63.81	20.46	5.50	0.00	1.17	2.36	9.03	2.90		1.74	78.28	
	H 47	0.99800	0.99534	0.99740	0.3083	52.40	0.00	3.82	7.44	63.66	19.63	5.49	0.00	1.16	2.35	9.00	2.77		1.67	78.09	
20年目	H 48	0.99799	0.99531	0.99739	0.2965	52.29	0.00	3.80	7.41	63.50	18.83	5.48	0.00	1.15	2.34	8.97	2.66		1.61	77.89	
	H 49	0.00.00	0.99529	0.99738	0.2851	52.18	0.00	3.78	7.38	63.34	18.06	5.47	0.00	1.14	2.33	8.94	2.55		1.54	77.69	
	H 50	0.00.00	0.99527	0.99738	0.2741	52.08	0.00	3.76	7.35	63.19	17.32	5.46	0.00	1.13	2.32	8.91	2.44		1.48	77.50	
23年目	H 51	0.00.00	0.99525	0.99737	0.2636	51.97	0.00	3.74	7.32	63.03	16.61	5.45	0.00	1.12	2.31	8.88	2.34		1.42	77.30	
21TH	H 52	0.99798	0.99522	0.99736	0.2534	51.87	0.00	3.72	7.29	62.88	15.93	5.44	0.00	1.11	2.30	8.85	2.24		1.36	77.11	19.53
25年目 26年目	H 53		0.99834	0.99734	0.2437	51.72	0.00	3.71 3.70	7.28 7.27	62.71	15.28	5.42	0.00	1.11	2.30	8.83	2.15		1.31	76.91	
	H 54	0.00.00	0.99834	0.99734	0.2343 0.2253	51.57 51.42	0.00	3.70	7.27	62.54	14.65	5.40 5.38	0.00	1.11	2.30 2.30	8.81 8.79	2.06		1.26 1.21		
	H 55 H 56		0.99834	0.99733	0.2253	51.42	0.00	3.68	7.25	62.37 62.20	14.05 13.47	5.36	0.00	1.11 1.11	2.30	8.79	1.98 1.90		1.21	76.51 76.31	
	H 57		0.99833	0.99732	0.2166	51.12	0.00	3.67	7.25	62.20	12.92	5.34	0.00	1.11	2.30	8.75	1.82		1.10		15.85
	H 58		0.99833	0.99731	0.2003	50.97	0.00	3.66	7.24	61.86	12.32	5.32	0.00	1.11	2.30	8.73	1.75		1.07	75.91	
	H 59		0.99833	0.99730	0.2003	50.82	0.00	3.65	7.22	61.69	11.88	5.30	0.00	1.11	2.30	8.71	1.68		1.02	75.71	14.58
	H 60	0.99700	0.99832	0.99729	0.1852	50.67	0.00	3.64	7.21	61.52	11.39	5.28	0.00	1.11	2.30	8.69	1.61		0.98	75.71	
	H 61		0.99832	0.99729	0.1780	50.52	0.00	3.63	7.20	61.35	10.92	5.26	0.00	1.11	2.30	8.67	1.54		0.94	75.31	
34年目	H 62	0.99698	0.99832	0.99728	0.1712	50.37	0.00	3.62	7.19	61.18	10.47	5.24	0.00	1.11	2.30	8.65	1.48		0.90	75.11	
	H 63	0.99698	0.99863	0.99727	0.1646	50.22	0.00	3.62	7.18	61.02	10.04	5.22	0.00	1.11	2.30	8.63	1.42		0.87	74.92	
	H 64		0.99894	0.99726	0.1583	50.06	0.00	3.62	7.17	60.85	9.63	5.20	0.00	1.11	2.30	8.61	1.36		0.83	74.72	
37年目	H 65	0.99668	0.99925	0.99726	0.1522	49.89	0.00	3.62	7.16	60.67	9.23	5.18	0.00	1.11	2.30	8.59	1.31	5.25	0.80	74.51	
38年目	H 66	0.99658	0.99956	0.99725	0.1463	49.72	0.00	3.62	7.16	60.50	8.85	5.16	0.00	1.11	2.30	8.57	1.25	5.24	0.77	74.31	10.87
39年目	H 67	0.99648	0.99987	0.99724	0.1407	49.54	0.00	3.62	7.16	60.32	8.49	5.14	0.00	1.11	2.30	8.55	1.20	5.23	0.74	74.10	10.43
合 計						2,075.66	0.00	153.65	301.23	2,530.54	853.94	216.75	0.00	47.30	95.00	359.05	121.45	216.70	73.02	3,106.29	1,048.41